



水田 恒一 議員

### ふたみシーサイド公園 海水浴場について

#### 問

五色姫海浜公園の海水浴場には、合併以前から、サメ防止のためのネットが設置されている。しかし、ふたみシーサイド公園海水浴場には、設置されていない。

同じ市内の海水浴場であり、多くの観光客を含め、利用者も多い。一日も早いサメ防止ネットを設置してほしい。

#### 答

中村市長

近年、瀬戸内でもしばしばサメが目撃されるようになり、利用者から指摘があったように、海水浴客の安全性が危惧される状況になっている。幸い、現在までサメによる被害



海水浴でにぎわうふたみシーサイド公園

はないが、今後も安心して海水浴に楽しんでいただけるよう、安全対策に万全を期してまいりたいと考えており、平成十九年度当初予算にサメ防止ネット設置に要する経費の計上を検討している。

今後、サメ防止ネットを設置している五色姫海浜公園の例を参考にしながら、ふたみシーサイド公園等における安全性を確保し、都市住民との交流を促進したい。

#### 答

産業経済課長

ふたみシーサイド公園の海水浴場は、公園本体の海水浴場約二四〇メートルと突堤を挟んで灘町海水浴場約八〇メートルが隣接した形である。

これを一括して張ると、約三四〇メートルの防護ネットになり、別々に張ると三三〇メートルになる。現在、どちらを採用するか検討している。防護ネットの設置は、シルバー人材センターに委託予定である。

深さは、約五メートルあり、ネットの深さは、水面から約三メートル程度をおもしでつるすという方法で防護ネットの設置を計画している。

#### 入札に関して

#### 問

一・落札率は、合併以前の旧三市町別と現在とで、どのように変化したか。  
二・入札予定価格を公表する考えはないか。  
三・談合防止のために、どのような対策をとってきたか。  
また、今後どのような対策を考えているか。

#### 答

中村市長

一・平成十六年度で、旧伊予市は八三・九％、旧双海町は九三・五％、旧中山町では九三・六％である。

合併後の十七年度は九一・六％、平成十八年度は、十一月末現在で九一・一％である。

二・私の入札執行事務に対する姿勢は、機会均等・公正・厳正・経済性を確保することが重要であると考えている。

その見地から、予定価格の事前公表は、競争が制限され、高値受注になること、業者が積算を行わなくなり、談合が一層行われやすくなることなどの懸念により躊躇した。しかし、現在の社会情勢、市民の皆さんの考え方等々考慮するときに、これも時代の要請と思われるので、平成十九年度から落札率の公表とあわせて、実施の方向で検討を重ねている。

三・談合を防止する問題は、古くて新しく、また重大な社会問題となっている。入札談合は典型的な※カルテルであり、最も悪質な独占禁止法違反の行為の一つであるとともに、公正で自由な入札、予算の執行等を阻害するものとし

て、市民の利益に相反する行為である。

本市も、現に入札談合が行われないよう、事業者等には通知等により未然防止に向けた取組を強めている。今後も入札、契約方法の適正化や入札談合を行った事業者に対する罰則、談合情報に対する適切な対応の確保に邁進したい。

入札の透明性、競争性の確保は、重要かつ緊急の課題であるので、一般競争入札に付する額の見直し、総合評価落札方式の導入、電子入札の導入、入札監視委員会等第三者機関の活用など、積極的な対応に努めたい。

※カルテル・・・同一業者の各企業が独占的利益を得ることを目的に、競争を避けて価格を維持・引き上げ・生産の制限・販路の制定などの協定を結ぶ連合形態

#### その他の質問事項

- ・孤独死について
- ・臓器移植について